



ドローンで上空から眺めたハス。水面を埋め尽くす無数の葉と、ピンク色の花々。今年は最初の開花が7月5日頃、花の最盛期は8月10～15日あたりと例年通りでした。伊豆沼の東部を中心に、花付きがとくに良好でした。

Vol.99
平成30年9月号

第4回自然体験講座 昆虫採集と標本作り

栗原市サンクチュアリセンターつきだて館（昆虫館）で、8月4日に小学生が昆虫採集と標本作りに挑戦しました。小学生ら18人が参加し、内沼周辺で採集したチョウを標本にしました。『わくわくどきどき実験室』と題して、宮城県昆虫地理研究会に所属する10人が講座の指導に当たりました。参加者からは「標本を作って楽しかった、勉強になりました」との声がありました。



内沼周辺で昆虫採集



捕まえたチョウを標本に



講師の解説を真剣な眼差しで

夏の伊豆沼自然と科学を体験



『わくわくどきどき実験室』では、8月5日に「夏の伊豆沼自然と科学の体験会」を催しました。水生微生物やアリジゴクの観察、ペーパークラフト、インクの色分解実験ができる各コーナーを宮城県サンクチュアリセンターに設け、訪れた多くの皆さんが、楽しみながら気軽に参加しました。

東京都あきる野市の訪問団が来館しました



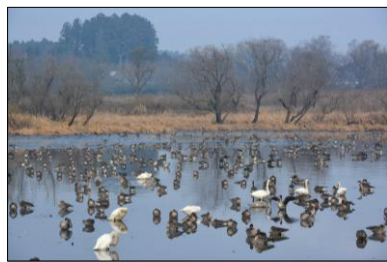
説明を受ける中学生

東京都あきる野市・栗原市友好親善交流会事業の一環で、中学生28人を含む40人の訪問団が8月2日に来館しました。職員から説明を受けたあと、館内で紹介されている伊豆沼・内沼の自然について興味深そうに見学していました。

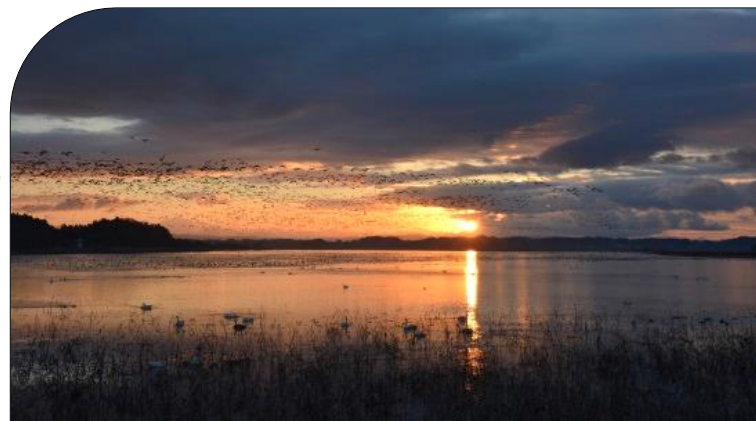
参加者
募集

ガンの飛び立ちを観察しませんか

伊豆沼・内沼自然体験講座 第7回～第10回の参加申し込みを10/2(火)から受け付けます。



対象は、小学生以上（小学生は保護者同伴）。定員は各回20人先着順。集合場所は、宮城県伊豆沼・内沼サンクチュアリセンター（鳥館）。*観察場所まで無料送迎。履きなれた靴あるいは長靴、防寒着を着用。*参加費には 朝食代、保険料等を含む。



ガンの飛び立ち観察会 & ラムサール湿地見学ツアー

朝のマガンの飛び立ちをラムサール登録湿地の伊豆沼、蕪栗沼と化女沼で観察します。
第7回 11/4(日) 第8回 11/18(日)
時刻は5:30～12:00 参加費1,500円

ガンの飛び立ち観察会 & 沼歩き探鳥会

冬は渡り鳥の数がピークになります。沼の周りを歩きながら鳥を身近に観察しましょう。
第9回 12/8(土) 第10回 1/19(土)
時刻は6:00～10:00 参加費1,000円

伊豆沼・内沼生き物図鑑 カラスガイ *Cristaria plicata* (Leach)の水質浄化能力

カラスガイは、本州の平野部を流れる緩やかな河川や湖沼に生息する二枚貝（シジミやアサリの仲間）です。淡水では最大級を誇り、時には40cm近くまで成長します。特技は水質の浄化です。下の写真は泥水の中にカラスガイを入れたもので、能力の高さがうかがえます。かつての伊豆沼は、水泳ができるほど水質が良好でした。当時は、生息数が多かったためかもしれません。

近年では、年老いた個体ばかりになっています。幼生が寄生する小魚の減少や、水質悪化による酸素不足のため、稚貝が育つことができないのかもしれません。現在、当財団ではブラックバスの駆除やハスの刈り払いに取り組んでいます。これによって、小魚が増え、水中の酸素不足が解消されれば、たくさんのカラスガイときれいな伊豆沼が戻ってくるかもしれません。

水質浄化前(左)と浄化後(右)この間6時間

